

鴨川小学校だより

令和4年11月2日第22号（保護者の皆様へ）

心温まる言葉

「何であんなことを言ってしまったのだろう。」「ひどい言葉を使ってしまった。」などと後悔したことはなかったでしょうか。人は一人では生きていけません。社会で生活するには言葉が必要です。

日本では、昔から、言葉には霊的な不思議な力が宿ると考えられてきました。その力を「言霊（ことだま）」といいます。古代の日本人は、言葉の持つ働きを大変恐れ、大切にもしてきました。良い意味の言葉を発すれば良い事が起こり、悪い意味の言葉を発すれば悪いことが起こるとされてきたわけです。

私たちが普段何気なく使っている言葉は、たった一言でも、人を喜ばせたり安心させたりする力を持っています。反対に、たった一言でも、人を傷つけたり、元気を奪ったり、心を暗くさせたりしてしまいます。

言葉には良くも悪くも大きな力があると思います。私たちの口から出た言葉は、周りの人に大きな影響を及ぼします。「たった一言が 人の心を傷つける たった一言が 人の心を温める」このことを心にとめて、言葉を大事にしたいものです。温かい言葉があふれる場所であるように。

ひとつのことばを	ひとつのことばを	やさしいことばは	きれいなことばは	ひとつの心を持って	ひとつのことばは	ひとつのことばで	ひとつのことばで	ひとつのことばで	ひとつのことばで	ひとつのことば
美しく	大切に	やさしい心	きれいな心	それぞれに	泣かされる	楽しく笑い	頭が下がり	心が痛む	けんかして	北原 白秋

（校長 福井 明）